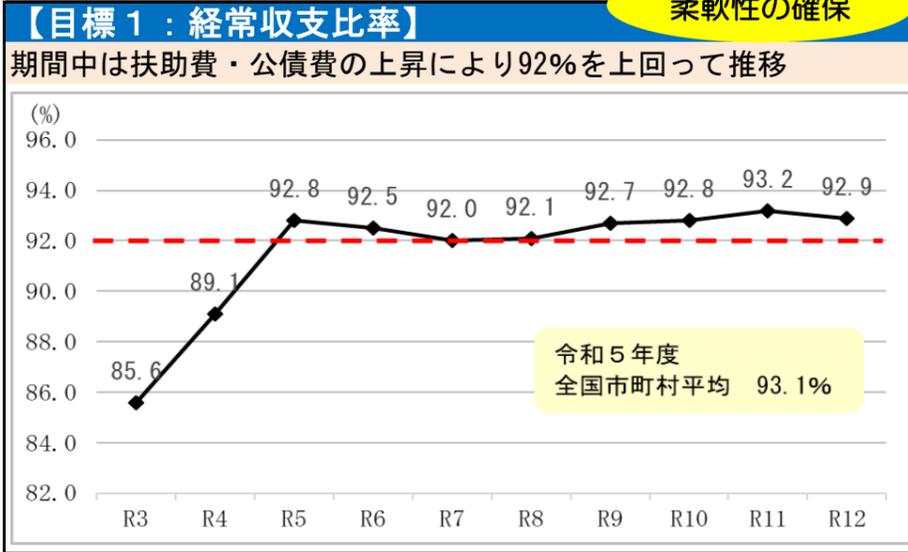


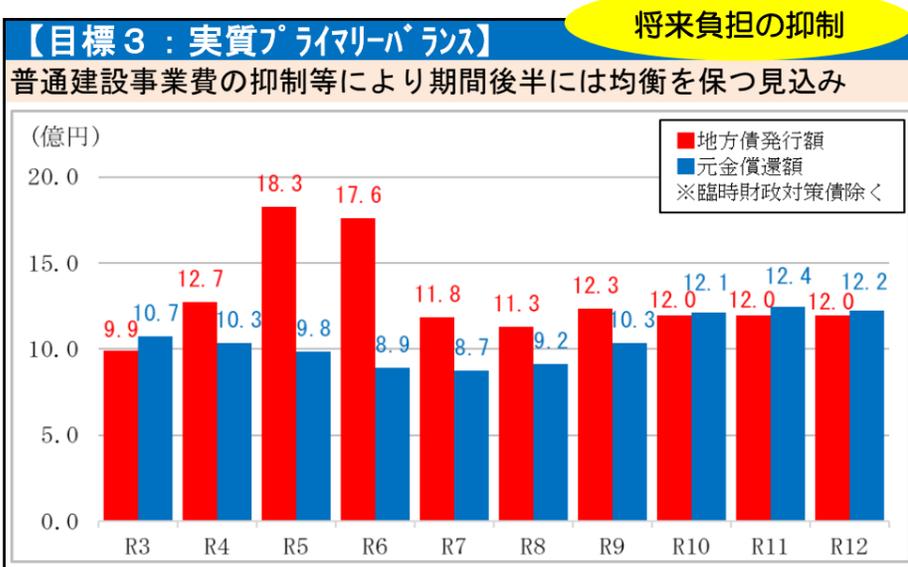
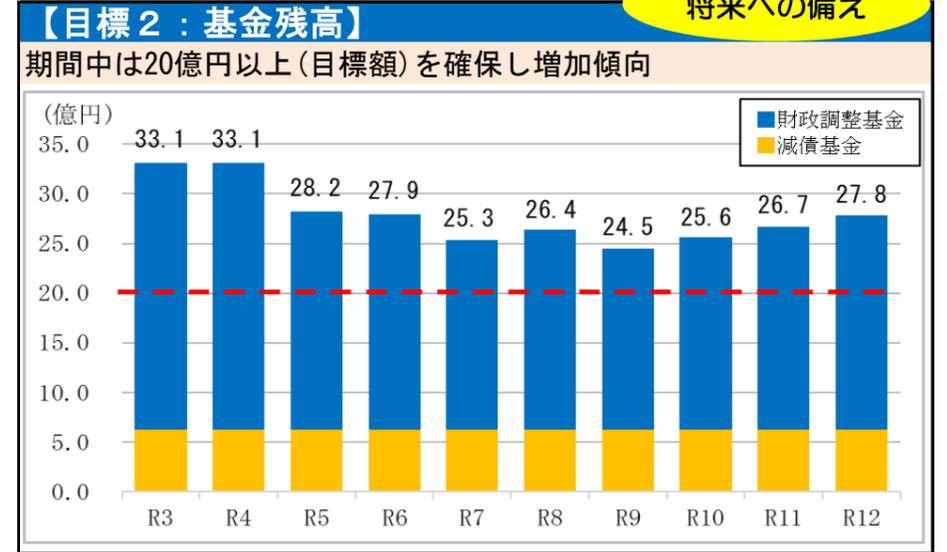
第3次総合計画 前期基本計画 各種財政指標等の推移



本市独自の健全財政確保のための目標
(令和3年度に設定)

目標1：経常収支比率は92%未満とする。
財政構造の弾力性を測定する指標で、低ければ低いほど財政運営の柔軟性があり、政策的に使えるお金が多くあることを示します。R1決算における全国類似団体の平均値である92.0%未満を維持することを目標として定めます。

目標2：基金残高（財政調整基金+減債基金）は、20億円以上とする。
財政調整基金は経済状況等の著しい変動に伴う税収の減や、自然災害に伴う復旧費などにより、財源が著しく不足する場合に備えるための基金で、減債基金は市債の償還に必要な財源とするための基金です。R2決算における標準財政規模202億6,900万円の10%である20億円以上を確保することを目標として定めています。



目標3：実質的なプライマリーバランスを維持する。
地方債残高抑制のため、地方債の発行・償還額から臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債など普通交付税への算入措置額を除いた「実質的なプライマリーバランス」を維持することを目標として定めます。

目標4：実質単年度収支を2年連続赤字にしない。
単年度の収支から、財政調整基金への積立や地方債の繰上償還などの黒字要素と、財政調整基金の繰入などの赤字要素を加減したもので、単年度の実質的な黒字・赤字を示します。安定的な財政運営を行うため、2年連続で赤字にしないことを目標として定めます。

